

# 自民総裁に岸田氏



発行所

山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年  
9月29日  
〈水曜日〉

電子  
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 決選投票 河野氏を破る

自民党は29日、総裁選の投票の結果、岸田文雄前政調会長（64）を第27代総裁に選出した。岸田氏が1回目の投票で1位だったものの、過半数に達せず、2位の河野太郎行政改革担当相（58）との決選投票を実施、岸田氏が勝利した。総裁任期は2024年9月末までの3年間。岸田氏は幹事長など党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。間近に迫る衆院選に向け、党態勢の構築を急ぐ。



自民党の新総裁に選出された岸田前政調会長。29日午後3時4分、東京都内のホテル

10月4日召集の臨時国会で、退陣表明した菅義偉首相の後継となる第100代首相に指名される。今回の総裁選は、高市早苗前総務相（60）、野田聖子幹事長代行（61）を含め、4人が立候補した。決選投票になったのは5回目。安倍晋三前首相が勝利した12年の総裁選以来。

決選投票は岸田氏257票、河野氏170票だった。1回目の投票結果は岸田氏256

票、河野氏255票、高市氏188票、野田氏63票。

新内閣発足後、岸田氏は所信表明演説と各党による代表質問後、衆院解散・総選挙に踏み切るとの見方が党内で強い。衆院選は議員任期満了の10月21日を越え、11月前半実施が有力視される。現行憲法下で任期満了を越える衆院選は初めて。

総裁選で岸田氏は、党改革を最大の課題に掲げ、総裁を除く党役員は1期1年、連続3期までとする。権力の集中と惰性を防ぐと強調。経済成長の適切な分配による格差解消を訴えた。

購読・試読の

お申し込みはー

フリーダイヤル

0120-81-8040